NIE実践報告

1．タイトル：新聞社による内容の違いを比較しよう

2．学校名

大阪府清風中学校

3．実践者名（代表者名）

森下和雄

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

公民　135人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞社による内容の違いの比較」

7．目標（狙い）

政治・経済・社会問題について、新聞記事を通じて興味を深めるとともに、複数の新聞記事を比較することにより、マスメディアの問題点について学ぶ。

8．評価の視点

積極的に新聞記事を読み、複数の新聞社の意見の違いや情報の違いに気づくことが出来たか。またそれを人に伝える形にうまくまとめることが出来たか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「国民の政治への参加」（教科書教材：扶桑社）（2時間）
「世論を形成するマスメディアの特色」（4時間）　　合計6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①国民として政治に参加する必要性と方法を学び、新聞などのマスメディアの役割を知る。
②新聞の情報が新聞社によって異なることを知り、その違いをレポートにまとめていく意義を考え、計画を立てる。
③グループごとに担当の新聞社を決め、それ以外の新聞社の記事との違いをレポートにまとめる。

（留意点）
・自分の担当している新聞社以外の4紙も必ず目を通す。
・内容の違いだけでなく、ある新聞では書かれているが別の新聞にはないという記事（内容）にも着目する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

当初考えていた、各紙の意見の違いに注目する生徒だけでなく、記事の量の違い、表現の仕方、掲載された日付のずれや、掲載されている情報といない情報があることなどまで注目した生徒もいた。記事の違いをまとめる難しさや、新しいことを知る喜びを感想で書く生徒もいた。

12．成果と課題

新聞の情報というのは、決して画一的なものではなく、いろいろな情報が我々に与えられていることを感じとってくれる生徒が多かった。情報化社会の中で、国民自身が情報を取捨選択しなければならないことに気づいてくれたと思われる。一方で、「社説」などの「意見」が出やすい記事に注目できた生徒は少なかった。